# 第68回 日経広告賞
NIKKEI ADVERTISING AWARDS 2019

第68 回 日経広告賞の主な受賞作品を紹介しています。

## 環境部門 最優秀賞／環境大臣賞
## セブン&アイ・ホールディングス

2019年5月31日付　日本経済新聞 朝刊　全30段・カラー

「企業イメージを重視した〝優等生〟的な表現ではない」。セブン&アイ・ホールディングスの環境広告は、二酸化炭素（$CO_2$）の排出削減をはじめとする4つのテーマと2050年の数値目標を具体的に掲示した「宣言型の広告」と高く評価された。

「全てのステークホルダーに対する約束を、必ず実現するという強い思い」（釣流氏）が紙面から伝わってくる。社内外からの反響は大きく、取引先や4テーマに関わる企業からの提案や問い合わせが増えているという。

セブン&アイ・ホールディングス
執行役員
サステナビリティ推進部
シニアオフィサー
釣流 まゆみ氏

## IR・アニバーサリー部門 最優秀賞
## 大和証券グループ本社

2019年6月26日付　日本経済新聞 朝刊　全15段・カラー

持続可能な開発目標（SDGs）をテーマにした大和証券グループ本社のシリーズ広告。初回の本広告は、取り組む姿勢を前面に出した。

SDGsの17のゴールを「地球から出された宿題」と捉え、「共に、歩む。」のキャッチコピーで表現。「様々なステークホルダーと共に考え、助け合い、解き、喜びたい、という思いを真摯に伝えたかった」（竹内氏）という。

広告のシリーズ化によって、「具体的な活動が投資家にも分かりやすく伝わる」と評価された。

大和証券グループ本社
執行役員
竹内 由紀子氏

ad plus
日経広告賞受賞作品は、特設サイトでご覧いただけます。日経ARアプリを左の「ad plus」ロゴ にかざして、
コンテンツをお楽しみください。アプリの詳細は「日経AR」で検索してください。 コンテンツは予告なく終了する場合がございます。
AR NIKKEI 日経AR
広　告